

ホームページのご案内
県議会のあらまし、議員名簿、本会議と委員会の日程等、各種(請願・陳情等)手続きの案内、会議録等を掲載しています。
インターネットで本会議、予算・決算特別委員会の生中継、録画画像をご覧いただけます。http://www.pref.miyagi.jp/site/kengikai/

- ### 発議<1件>
- 宮城県議会の保有する情報の公開に関する条例の一部を改正する条例
- ### 意見書<2件>
- 地方大学の機能強化を求める意見書
 - 脳脊髄液減少症に対するブラッドパッチ療法の保険適用及び治療推進を求める意見書
- ### 可決・承認・同意した知事提出議案<77件>
- 平成27年度宮城県一般会計補正予算
 - 地方活力向上地域における県税の特例に関する条例
 - 工事請負契約の締結について(塩釜漁港棧橋等災害復旧工事及び改築工事(その2))
 - 工事請負契約の締結について(八幡川護岸等災害復旧工事)
 - 監査委員の選任につき同意を求めることについて ほか
- ### 採択した請願<2件>
- 私学助成増額について
 - 私立高等学校等への助成強化に関することについて
- ※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

議決した議案等



宮城県議会11月定例会本会議

年度末まで1万戸完成

災害公営住宅の整備 知事答弁

市町、入居条件緩和を判断

第354回宮城県議会(11月定例会)は、平成27年11月27日から12月18日まで22日間の会期が開かれた。改選後初の議会となり、初日の本会議で正副議長選挙を行い、議長に安部孝義、副議長に長谷川洋、議員を選出した。宮城豪雨の復旧費など約781億7000万円を超過する一般会計補正予算(計77議案)を原案通り可決した。一般質問では、災害公営住宅や子育て環境の整備、TPPの大筋合意による県農業への影響、豪雨災害、指定廃棄物などが取り上げられ、活発な質疑応答が交わされた。

被災者の住宅に関し、議員から「平成29年度までに災害公営住宅をすべて完成させる」との真の方針は、現状に照らしてどうか」との質問があった。

災害公営住宅の整備状況について、知事は平成27年11月末現在で、計画戸数約1万6000戸のうち約89%にあたる1万4166戸が事業着手済みで、約49%にあたる7784戸が完成している。今年度末まで約1万戸が完成する予定で、今後も着実に整備が進んでいく」との見通しを示した。

災害公営住宅などの空き住戸に関する「一般住民にも開放する施策を検討しているが、現行制度で入居要件を満たしていない被災者を優先するなどの救済策」を講じる考えは、「と条件緩和を求める議員もいた。

知事は「災害公営住宅は被災者の意向の変化等により、空き住戸が発生して、入居希望がないことを確認した上で、各市町が復興の見解を受けて、平成28年度以降に災害公営住宅の入居要件を満たしていない方を入居させる場合の当面の方針を県と市町が確認した」と説明した。

「子育て環境最重要」 少子化対策で知事が強調

地方創生に向けた子育て環境の対応にも議員たちの強い関心が集まった。議員の一人は「県地方創生総合戦略に掲げた目標を実現するためには、若い世代が安心して子どもを生み育てる環境の整備が急務だ」と求めた。

知事は「次代の宮城県を担う子どもたちは宮城の希望であり、未来を創る存在だ。その子どもたちの健やかな育ちと子育てを支えることは、子どもも親もともに育ち、わが県の未来を構築することにつながる県全体で取り組む最重要課題である」と強調した。

保健福祉部長は「今年度は市町村が行う独自の少子化対策事業を支援する単子独対策金を創設したほか、学生交付金が同世代に対して結婚や子育てに関する知識や魅力を発信する」ことを示した。

知事は「県全体の産業の育成、国益を前提とした判断に基づくものであり、迅速かつ十分な説明を尽くすこと、農林漁業者が確実に再生産を維持し、持続的な発展ができるよう万全な対応を行うことなどを要望した」と答えた。

TPP対応 持続的発展国に要望 県、農業の競争力強化へ

環太平洋連携協定(TPP)交渉の大筋合意について、議員は「これまでの国会や県議会の議論を踏まえ、どう評価しているのか」と、今後の対応を含めて知事の見解を求めた。

知事は「国全体の産業の育成、国益を前提とした判断に基づくものであり、迅速かつ十分な説明を尽くすこと、農林漁業者が確実に再生産を維持し、持続的な発展ができるよう万全な対応を行うことなどを要望した」と答えた。

TPPの大筋合意によって農業にどのような影響が出るか想定しているのか」という質問もあった。

福島県内処理 現状では困難

福島第1原発事故で発生した宮城県内の指定廃棄物の処理について、「福島県内の最終処分地で、二元的に処理すべきことが最も合理的」と答えた。

宮城県内3候補地の1つである、宮城県内最北の地域であり、災害発生の際に避難する必要がある」と答えた。

河川維持管理計画改定へ豪雨災害

9月の豪雨災害について、議員から被災状況や今後の取り組みなどについて質問があった。

知事は「河川維持管理計画が十分」と指摘する議員もいた。

土木部長は「県内で初めて大雨特別警報が発表され、短時間かつ局地的な豪雨による記録的な雨量が観測されたことにより、県管理河川で堤防が決壊するなどの被害が発生した」と答えた。

「周辺地域の安全が確保されるよう市町村との協議に基づき指定河川の追加や重要管理区間の見直しなど、年度内を目標に水防計画および河川維持管理計画を改定する」と答えた。

知事は「仙台市においていじめによる自死という事実があったことは極めて残念なことであり、このようなことが二度と起こらないようにするために、知事部局と教育委員会、関係機関や団体などが、これを機に連携し、いじめ対策を講じていかなければならない」と答弁した。

他の議員は「スクールソーシャルワーカーを早期に県内全ての小中学校に配置すべきである。県として目標を定め、人材確保に取り組むべきだ」と求めた。

教育長は、スクールソーシャルワーカーの配置について「年々、学校からのニーズも高まっており、配置数を拡充している」と話し、た上で「有資格者がより適当であると考えているが、現時点では確保が難しい。県内の大学にその養成数を増やすよう働きかけるとともに、職団体を通じて有資格者を確保するよう努めている」と答えた。

農林水産部長は「合意内容から国産の牛肉・豚肉の価格低下、米や生乳の需給バランスの悪化などが想定されることから、年内に公表が予定されている国の経済効果分析結果を踏まえ、わが県の影響額の試算を検討する」と語った。

また、見直しを行っている「みやぎ食と農の県民条例基本計画」にも触れ、「経営感覚に優れた担い手の育成、農地集積の加速化、水田の活用による収益性の高い作物への転換など、農業の競争力強化と体質の強化に取り組んでいく」と答えた。

正副議長就任あいさつ

第354回宮城県議会(平成27年11月定例会)開会日に選出され、開会日となる12月18日の議長記者会見の際に就任のあいさつを行った。

安部孝義議長は「本県に甚大な被害をもたらした東日本大震災の発生から4年9カ月が経過し、被災地では復興に向けた取り組みが着実に進んできているが、未だ道半ばである。震災からの復旧・復興を加速させる」とともに、富原宮城の推進や人口減少問題などの様々な課題を解決していくため、県議会としては議会改革や議員提案条例、議員の政策提案の取り組みを通じて、豊かで住みよい「ふるさと宮城」の再生と更なる発展に向けて全力で頑張ってまいりたい」と語った。

長谷川洋副議長は「東日本大震災からの一日も早い復旧・復興、また、少子高齢化や地域経済の低迷から脱却するための地方創生の推進など、課題が山積しているなか、『車の両輪』と言われる二元代表制の一翼を担う県議会が果たす役割は非常に重要であると感じている。議長を補佐しながら副議長の職を全力でまっとうしてまいりたい」と語った。

県議会からのお知らせ

- ラウンジコンサート
県議会では、年4回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場ください。
◇次回コンサートの開催予定
・日時/平成28年2月16日(火) 午後0時15~45分
・場所/県議会議庁舎1階ラウンジ
・出演/園部 愛子
・曲目/シヨパン「幻想即興曲」ほか
- 傍聴のご案内
本会議、各委員会は手続きの上、自由に傍聴できます。
※お問い合わせ先 宮城県議会事務局総務課TEL022(211)3571

議会運営委員会 ◎佐々木喜藏(自民) 細川 雄一(自民) ゆさみゆき(県民の声) 田代 裕(自民) 三浦 一敏(共産) 角野 達也(共産) 伊藤 和博(公明) 菅間 進(無所属の会) 高橋 伸二(自民) 石川光次郎(自民) 畠山 和純(自民) 相沢 光哉(自民)	予算特別委員会 ◎佐藤光樹(自民) 田代裕(自民) 藤原のりすけ(県民の声) 12月14日に委員9人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、平成27年度宮城県一般会計補正予算等を可決した。 ●総括質疑者 畠山和純、石川利一、細川雄一(自民)、佐々木功悦(県民の声)、三浦一敏(共産)、横山のぼる(公明)、岸田清実(社民)、渡辺忠悦(無所属の会)、吉川寛康(21世紀ク)	総務企画委員会 ◎本木 忠一(自民) 細川 雄一(自民) 藤原のりすけ(県民の声) ゆさみゆき(県民の声) 遠藤いく子(共産) 菅間 進(無所属の会) 守屋 守武(自民) 中島 源陽(自民) 瀬美 巖(自民) 中沢 幸男(自民)	環境生活農林水産委員会 ◎村上 智行(自民) 石川光次郎(自民) 佐々木功悦(県民の声) 高橋 啓(自民) 中嶋 廉(共産) 熊谷 義彦(社民) 横山 隆光(自民) 佐々木喜藏(自民) 長谷川洋一(自民) 藤倉 知格(自民)	保健福祉委員会 ◎長谷川 敦(自民) 佐藤 光樹(自民) 坂下 伸(県民の声) 天下みゆき(共産) 大内 真理(共産) 遠藤 伸幸(公明) 深谷 晃祐(自民) 安藤 俊成(自民) 渡辺 和喜(自民)	経済商工観光委員会 ◎菊地 恵一(自民) 伊藤 和博(公明) 岸田 清実(社民) すどう 哲(県民の声) 田代 裕(自民) 鎌田さゆり(県民の声) 安部 孝(自民) 庄田 圭佑(自民) 福島かずえ(共産) 畠山 和純(自民) 庄田 圭佑(自民) 渡辺 勝幸(自民)	建設企業委員会 ◎吉川 寛康(21世紀ク) 石川 利一(自民) 坂下やすこ(県民の声) 渡辺 忠悦(無所属の会) 内藤 隆司(共産) 横山のぼる(公明) 遠藤 隼人(自民) 高橋 伸二(自民) 齋藤 正美(自民) 仁田 和廣(自民)	文教警察委員会 ◎佐々木幸士(自民) 〇只野九十九(自民) 庄子 賢一(公明) 境 恒春(県民の声) 鎌田さゆり(県民の声) 角野 達也(共産) 三浦 一敏(共産) 佐々木賢司(自民) 中山 耕一(自民) 相沢 光哉(自民)
--	---	---	---	---	---	---	---

委員会構成

11月定例会では、議会運営委員会、や常任委員会等の委員が選任された。復興調査特別委員会など5つの調査特別委員会が設置された。(◎は委員長、〇は副委員長)

大震災復興調査特別委員会 定数15人 ◎瀧美 巖(自民) 〇熊谷 義彦(社民) 太田 稔郎(県民の声) 境 恒春(県民の声) 高橋 啓(自民) 横山のぼる(公明) 三浦 一敏(共産) 福島かずえ(共産) 守屋 守武(自民) 村上 智行(自民) 佐々木喜藏(自民) 本木 忠一(自民) 齋藤 正美(自民) 畠山 和純(自民) 仁田 和廣(自民) ▷付議事件/大震災復興に関する諸施策について	人口減少・若者対策調査特別委員会 定数10人 ◎ゆさみゆき(県民の声) 〇渡辺 忠悦(無所属の会) 佐々木功悦(県民の声) 角野 達也(共産) 大内 真理(共産) 遠藤 隼人(自民) 佐々木賢司(自民) 長谷川 敦(自民) 安藤 俊成(自民) 藤倉 知格(自民) ▷付議事件/人口減少・若者対策に関する諸施策について	いじめ・不登校等調査特別委員会 定数10人 ◎すどう 哲(県民の声) 〇菅間 進(無所属の会) 岸田 清実(社民) 中嶋 廉(共産) 遠藤 伸幸(公明) 庄田 圭佑(自民) 細川 雄一(自民) 高橋 伸二(自民) 中島 源陽(自民) 相沢 光哉(自民) ▷付議事件/いじめ・不登校等に関する諸施策について	産業振興対策調査特別委員会 定数10人 ◎石川 利一(自民) 〇遠藤いく子(共産) 藤原のりすけ(県民の声) 庄子 賢一(公明) 内藤 隆司(共産) 深谷 晃祐(自民) 渡辺 勝幸(自民) 只野九十九(自民) 佐藤 光樹(自民) 渡辺 和喜(自民) ▷付議事件/産業振興対策に関する諸施策について	東北広域観光振興調査特別委員会 定数10人 ◎中沢 幸男(自民) 〇伊藤 和博(公明) 坂下やすこ(県民の声) 鎌田さゆり(県民の声) 天下みゆき(共産) 吉川 寛康(21世紀ク) 横山 隆光(自民) 佐々木幸士(自民) 菊地 恵一(自民) 石川光次郎(自民) ▷付議事件/東北広域観光振興に関する諸施策について	広報委員会 ◎石川 利一(自民) 〇渡辺 忠悦(無所属の会) 熊谷 義彦(社民) 福島かずえ(共産) 遠藤 伸幸(公明) 吉川 寛康(21世紀ク) 鎌田さゆり(県民の声) 佐々木賢司(自民)
---	--	--	--	--	---

<会派名略称>

- 自由民主党・県会議会 = (自民)
- みやぎ県民の声 = (県民の声)
- 日本共産党宮城県議員団 = (共産)
- 公明党県議員団 = (公明)
- 社会党県議員団 = (社民)
- 無所属の会 = (無所属の会)
- 21世紀クラブ = (21世紀ク)

「みやぎ県議会だより」へのご意見・ご感想をお寄せください
宮城県議会事務局政務調査課
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号
TEL022(211)3592 FAX022(211)3598
Eメール gtyosas@pref.miyagi.jp